

医学系研究科共通機器室利用について

1 使用料について

① 学内者が使用料を負担する場合

使用料の支払いは、設備等の使用が行われた後、実際の予約や使用時間に応じて計算し使用料を示すこととするが、その金額について、学内振替手続きによらなければならない。

② 学外者が使用料を負担する場合

使用料の支払いは、設備等の使用が行われた後、実際の予約や使用時間に応じて計算し使用料を示すこととするが、その金額について、本学の発する請求書により指定期日までに支払わなければならない。なお、指定期日までに支払わないときは、その翌日から納入日までの日数に応じ年 5%の割合で計算した金額を延滞金として支払わなければならない。

③ 使用料の種類

- a) 分野負担金（医学系研究科と関連学科は 30,000 円／年度／分野、その他の学科は 50,000 円／年度／分野）
- b) 個人登録料（医学系研究科と関連学科は 1,000 円／年度／人、その他の学科は 3,000 円／年度／人、学外者は 20,000 円／年度／人）
- c) 分室登録料（10,000 円／人）ただし、以下の分室登録の場合のみ
1号館 11階 実験動物病理プラットフォーム
6号館 3階 タンパク質解析プラットフォーム
小動物イメージングラボ
- d) 機器使用料（別表参照）
- e) 標本作製料（別表参照）

2 目的外使用の禁止について

使用者は、使用の許可を受けた目的以外に設備等を使用し、又は第三者に使用させてはならない。

3 使用許可の取り消し等について

共通機器運営委員会委員長は、使用者が共通機器室設備等使用内規に違反し、又は設備等の使用に重大な支障を生じさせたときは、使用の許可を取り消し、又は使用を停止させることがある。

4 免責について

本学は、設備等に使用によって使用者(本学の職員を除く。)に生じた損害について、

使用者（本学の職員等を除く。）に対し、一切の責任を負わないものとする。

5 損害賠償について

使用者は、故意又は過失によりその使用に係る設備等を滅失し、又は損傷したときは、その損害を賠償しなければならない。

利用上の注意

1 微生物の持ち込みについて

真正細菌、ラン藻、古細菌、真菌（酵母、カビ、キノコ）、原虫（原生動物を含む）、真核藻類、細胞性粘菌等、寄生虫（線虫等を含む）、動物ウイルス、植物ウイルス（ウイロイドを含む）、バクテリオファージ、プリオン、微生物の産生する毒素、未同定微生物（単離済みのもの）、多量の微生物を含有する試料（土壌、汚泥、消化管内容物、海水、淡水等）などの微生物を共通機器室において使用することを希望する場合は、事前に共通機器室（brc@med.tohoku.ac.jp）までご連絡ください。

2 実験ごみについて

バイオハザード実験ごみは研究室に持ち帰り処理してください。

3 入退室用カードについて

1 号館2階機器室への入退室にはカード認証処理が必要ですので共通機器管理室までお持ちください。認証処理できるのは、職員証・動物実験施設カード・病院ネームプレート・ICシールを貼った学生証です。それ以外の場合はICシール（有料）の貼り付けが必要です。

3 謝辞記載について

論文作成に当たっては、東北大学大学院医学系研究科共通機器室（Biomedical Research Core of Tohoku University Graduate School of Medicine）を利用した旨を記載し、論文採用後は共通機器室にご連絡下さい。

4 実験室使用上の一般的な注意

- ・薬品等をこぼした際はすぐに拭き取って下さい。（後からでは成分も分からず落ちにくくなります。）
- ・室内での飲食並びに飲食物の持込はできません。
- ・機器の故障に気づいたら記録簿に記入するとともに、共通機器管理室もしくは機

器管理担当者に連絡して下さい。

- ・靴底が床を汚す可能性がある場合は、用意されたサンダルに履き替えてください。

5 機器の使用資格について

以下の機器は講習会受講や機器の使用資格登録が必要です。

機器名	利用条件	登録
顕微鏡 (ZeissLSM780、ZeissLSM800、Nikon 超解像、Keyence BZX800、Olympus VS200、FV1000MPE) 画像処理ソフト Imaris	メーカー講習 (有料/無料) か使用経験のある教員からの指導	使用資格登録者名簿
超遠心機、高速遠心機	メーカー講習 (無料) の受講	使用資格登録者名簿
FACS (AriaII・III、CantoII、Fortessa、SonySP6800)	メーカー講習 (有料) の受講	使用資格登録者名簿
Agilent4200 Tape Station	メーカー講習か使用経験者からの指導	-
BioMarkHD	メーカー講習 (有料) の受講	-
ChemiDocMP システム	メーカー講習か使用経験者からの指導	-
QuantStudio3D	メーカー講習か使用経験者からの指導	-
安井器械 マルチビーズショッカー	メーカー講習か使用経験者からの指導	-
ABI 3500xL シークエンサー	メーカー講習か使用経験のある教員からの指導	使用資格登録者名簿
Beckman ProteomeLab 分析遠心	メーカー講習か使用経験のある教員からの指導	使用資格登録者名簿
BertholdCentrolB960、	メーカー講習か使用経験のある教員からの指導	使用資格登録者名簿
BiacoreX100	メーカー講習 (有料) の受講	使用資格登録者名簿
Thermo Scientific Celloomics	メーカー講習 (無料) の受講	使用資格登録者名簿
1号館3階 (BMG PHERAStar、Multidrop Combi)	メーカー講習か使用経験のある教員からの指導	使用資格登録者名簿
小動物イメージングラボ (PerkinElmer IVIS Spectrum CT、LCT200 X線CT)	メーカー講習 (有料) か使用経験のある教員からの指導	小動物イメージングラボ分室登録
6号館3階の機器	機器管理担当者へ事前相談	タンパク質解析プラットフォーム分室登録

医学系研究科共通機器室

BRC (Biomedical Research Core)

2024年3月